教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.1−1

授業科目名	歯科英語　講義 実技 演習	担当教員	コガ・エンタープライズ株式会社 代表取締役　古賀　和憲
授業コード	英−2021−1講−前・後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	水 曜日　10 回　20時間	単位	
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科専門用語を英語で理解し、世界に通じる歯科技工士を育てる、また

歯科技工のグローバル化に対応できる技工士を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考
1 回目	dental anatomy word of direction	2
2 回目	dental Thepermanent teeth, deciduous	2
3 回目	dental Tooth composition	2
4 回目	dental Central incisor, Cuspid	2
5 回目	dental First premolar	2
6 回目	dental Maxillary first molar	2
7 回目	Crown Bridge Prosthetics, iniay	2
8 回目	Crown Bridge Prosthetics, partial coverage crown	2
9 回目	Crown Bridge Prosthetics, Classification of margin	2
10回目	Crown Bridge Prosthetics, Components of bridge	2

評価方法　total　20

中間試験と学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科英語　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.1-2

授業科目名	歯科英語　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学文学部非常勤講師 内田　愛
授業コード	英-2021-1講-前・後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	金 曜日　6 回　12時間	単位	
時　限	1・2 限　9:00～10:30　10:40～12:10	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　基礎的な英語力を身に付けると同時に、現場で使える英語表現を学ぶ。

また、卒業後も必要に応じて独学できるよう、その方法を学ぶ。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	
1 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
2 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
3 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
4 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
5 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
6 回目	合同クラス（発音練習、会話練習など）	プリント使用	2
7 回目			
8 回目			
9 回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			

評価方法　total　12

中間試験と学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科英語　医歯薬出版
副読本・資料	必要に応じてプリント配布
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 2 年 3 月 31 日

No.2

授業科目名	造形美術概論　講義・実技・演習	担当教員	東京芸術大学 小高　一民
授業コード	美-2021-1演-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・　後　期		
曜日・回数	水 曜日　8 回　32時間	単位	
時　限	3～4 限　13:00 ～ 16:10	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

造形美術概論の理論的背景を基に補綴物製作における関連性を理解する。

造形、色彩について学習し、歯科技工士が修復物などを製作する際に、直接的あるいは間接的に役立つ美的な感覚を養う。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	幾何形体による構成、描写　1回目		3
2 回目	幾何形体による構成、描写　2回目		3
3 回目	グレースケールをアクリル絵の具を用いて製作して明度の表現をする		3
4 回目	色相環をアクリル絵の具を用いて製作して色の三要素を理解する　1回目		3
5 回目	色相環をアクリル絵の具を用いて製作して色の三要素を理解する　2回目		3
6 回目	サザエの貝殻を粘土を用いてモデリングして立体観察と表現をする　1回目		3
7 回目	サザエの貝殻を粘土を用いてモデリングして立体観察と表現をする　2回目		3
8 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする　1回目	ポリウレタン樹脂：RAKU-TOOL	3
9 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする　2回目		3
10 回目	サザエの貝殻をポリウレタン樹脂で彫刻して立体観察と表現をする　3回目		3

評価方法	total	30

提出物（作品）：着彩・グラデーション及び立体造形（モデリング、カービング）を総合判断する。

評価ポイントは「観察力」「認識力」「表現力」。

教科書	「歯科技工士教本　造形美術概論」　医歯薬出版
副読本・資料	適宜、プリントを配布する。
その他	事前配布等の資料により各自準備をして授業に臨むこと。授業は3コマ×10回なので、授業の予定に 合わせ遅れが生じた場合はデッサン・着彩・立体造形（モデリング、カービング）は授業外時間で完成

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.3

授業科目名	人間共生学　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	人-2021-2演-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 －　472　－ 5223
曜日・回数	月～金 曜日　30 回　60時間	単位	携　帯　－　－
時　限		2単位	E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　職業従事者として必要な人と接する姿勢を修得するために、共生学に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1～2回	劇を通してｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをとることで相手の感情、考えを理解して対応する力をつける		4
3～9回	テーマに沿って必要備品の製作、演技を習得をする。		14
10～11回	幼稚園実習　予行練習		4
12～15回	幼稚園実習		8
16回	グループに分かれて卒業研究発表を行う。グループ作成		2
17回	各グループに分かれて研究テーマを作成		2
18～20回	各グループに分かれてテーマに対し研究		6
21～23回	論文作成		6
24～25回	研究発表内容のﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ作成		4
26回	研究発表予行練習		2
27～30回	研究発表		8

評価方法　total　60

研究テーマ、論文、口頭試問、発表態度等を勘案し評価を行う。

教科書	各テーマに合った教本を使用
副読本・資料	最新歯科技工士教本・最新歯科衛生士教本等
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.4

授業科目名	歯科技工概論　講義・実技・演習	担当教員	学校法人　共生学園 学校長　細井　紀雄
授業コード	概-2021-1講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・　後　期		
曜日・回数	火　曜日　　15 回　　30時間	単位	
時　限	2限　　10:0 ～ 12:30	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標　歯科技工学にはどのような科目があるかを知り、学ぶべき内容を知る。歯科技工士の業務を規定している歯科技工士法を学び、医療技術者としての自覚を高める。医の倫理についても理解を深める。

到達目標：①歯科医療の特異性を説明できる。②歯科技工について説明できる。③歯科疾患と歯科技工について説明できる。④歯科技工の材料と器具を説明できる。⑤歯科技工のデジタル化について説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	第1章　歯科医療と歯科技工　1	細井	2
2 回目	第1章　歯科医療と歯科技工2，3，4	細井	2
3 回目	第2章　歯科技工士の役割　1，2，3	細井	2
4 回目	第3章　歯および口腔組織の形態と機能　1，2	細井	2
5 回目	第3章　歯および口腔組織の形態と機能　3	細井	2
6 回目	第4章　歯科疾患と歯周組織の変化　1，2、3、4	細井	2
7 回目	第4章　歯科疾患と歯周組織の変化　5，6，7，8、9，10	細井	2
8 回目	第5章　歯科臨床と歯科技工　1，2	細井、松本	2
9 回目	第5章　歯科臨床と歯科技工　3、5，6，7，8	細井、松本	2
10回目	第6章　歯科技工で扱う材料・器具　1，2，3，4，5	GC	2
11回目	第6章　歯科技工の管理と運営　1，2，3	細井	2
12回目	第7章　口腔と全身の健康管理　1，2，3，4	細井	2
13回目	第7章　口腔と全身の健康管理　5，6	細井	2
14回目	第8章　情報リテラシー	細井、勝田	2
15回目	第9章　コミュニケーション	細井	2

評価方法	出席状況（2/3以上）および期末テスト（60％以上）で評価する。	total	30

教科書	最新歯科技工士教本　歯科技工士管理学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	次回の講義内容を各自予習して授業に臨むこと

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.5

授業科目名	歯科技工士関係法規　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	法-2021-2講-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・2年		
学　期	前　期・　後　期		自　宅
曜日・回数	月 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	1単位	E-mail

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※衛生行政の概要と歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。

※1. 衛生行政の概要を把握し、法律と厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明する。2. 歯科技工士法の目的、用語について説明する。3. 歯科技工士免許について説明する。4. 歯科技工士試験について説明する。5. 歯科技工士業務について説明する。6. 歯科技工所の開設について説明する。7. 雑則、罰則、附則について説明する。8. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との関わりについて説明する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	衛生行政の概要		2
2 回目	歯科技工士法1		2
3 回目	歯科技工士法2		2
4 回目	歯科技工士法3		2
5 回目	歯科技工士法4		2
6 回目	歯科技工士法5		2
7 回目	歯科技工士法6		2
8 回目	歯科技工士とその他の衛生法規		2
		total	16

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科技工管理学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学基礎　講義・実技・演習	担当教員	畠中歯科医院 畠 中　直
授業コード	解基1-2021-1講-前・後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	木 曜日　25 回　50時間	単位	
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	3単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の生物学的特性　歯の外形と内形　歯の種類と名称と記号　歯の方向と部位　歯の形態と植立様式　永久歯の形態的特徴　歯の組織と歯周組織の構造　歯の発生、発育および交換　歯と歯周組織および顎口腔の加齢現象　歯の数、形態および色の異常　歯列と咬合について学ぶ　※頭蓋骨の構造　顎顔面の筋の形態的特徴と機能　顎口腔の神経支配　顎関節の構造と機能　口腔と口蓋の構造　唾液腺の存在部位と役割　舌の構造と役割について学ぶ

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	歯の定義、機能、特性、植立、外形と内形	2
2 回目	歯の種類と分類、歯の記号と歯式	2
3 回目	歯の名称	2
4 回目	歯の形の概説	2
5 回目	上顎切歯	2
6 回目	下顎切歯	2
7 回目	犬歯	2
8 回目	上顎小臼歯	2
9 回目	下顎小臼歯	2
10回目	上顎大臼歯	2
11回目	下顎大臼歯	2
12回目	乳歯	2
13回目	歯の発生	2
14回目	歯の組織	2
15回目	歯周組織	2

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　口腔、顎顔面解剖学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 2 年 3 月 31 日

No.6

授業科目名	解剖学基礎Ⅰ	講義 実技 演習	担当教員	畠中歯科医院 畠 中　直

16 回目	歯および歯周組織の加齢現象、歯の異常		2
17 回目	歯列、咬合		2
18 回目	脳頭蓋骨		2
19 回目	顔面頭蓋骨		2
20 回目	口腔周囲の筋と神経		2
21 回目	顎関節		2
22 回目	口腔の隣接機関、口腔		2
23 回目	口蓋、唾液腺		2
24 回目	舌		2
25 回目	咽頭、喉頭		2
		total	50

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 2 年 3 月 31 日

No.7

授業科目名	解剖学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	解応-2021-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	水、木、金 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　-　-
時　限	1・4限　9:00～10:30 14:40～16:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯の形態や特徴、歯や顔面の発生、歯の組織、口腔内や頭部の骨・筋肉・神経などについて総合的に応用する。

※学生が、歯の解剖・口腔解剖について知り、各内容について分類、説明ができ問題を読み解くことを目的とする。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	歯の概説と特徴　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
2 回目	歯の鑑別・永久歯の形態　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
3 回目	歯と歯周組織　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
4 回目	歯の発生・歯列と咬合　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
5 回目	頭蓋の骨　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
6 回目	口腔周囲の筋　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
7 回目	歯と歯周組織　、口腔、国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目	歯の解剖・口腔解剖総まとめ　国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
		total	16

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　口腔・顎顔面解剖学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.8

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅰ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	彫刻Ⅰ-2021-1実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・　2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	金　曜日　30回　60時間		携　帯　-　-
時　限	3時限～4時限まで　1:00～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※

歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～3 回	歯型彫刻	用語説明・デッサン描記	担当　永嶋	6
4～5 回	歯型彫刻	デモ　・彫刻	担当　永嶋	4
6～7回	歯型彫刻	形態説明・彫刻	担当　菅原	4
8～30回	歯型彫刻	石膏彫刻の習得	担当　永嶋	46

評価方法　　total　60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.9

授業科目名	歯型彫刻基礎Ⅱ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	彫刻Ⅱ-2021-2実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　24回　30時間		携　帯　-　-
時　限	1～3時限		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯冠修復物を製作できるようにするために、天然歯の歯冠形態及び特徴に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～22回	歯型彫刻	石膏彫刻とﾃﾞｯｻﾝ(1回に彫刻1本、ﾃﾞｯｻﾝ1枚)	担当　勝田	22
23回目	歯型彫刻	形態説明・彫刻	担当　菅原	4
24回目	歯型彫刻	彫刻刀の使い方等を1年に説明	担当　小口	4

評価方法		total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.10

授業科目名	顎口腔機能学　基礎　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学歯学部 福島　俊士
授業コード	顎基-2021-2講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	木 曜日　9 回　18時間	単位	
時　限	2 限　10:40 ～ 12:10	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　顎口腔系の構成要素ごとにそれぞれの機能を学習し、咬合器を通じてそれらを実現する製作手順を修得する。

※　歯列・顎関節・筋肉・神経によって構成される顎口腔系の機能を説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	顎口腔系の形態(1):歯と歯列・骨・筋		2
2 回目	顎口腔系の形態(2):顎関節・軟組織・神経		2
3 回目	顎口腔系の機能	小テスト(1)	2
4 回目	下顎位		2
5 回目	下顎運動(1)下顎の基本運動		2
6 回目	下顎運動(2)下顎の限界運動・機能運動		2
7 回目	歯の接触様式	小テスト(2)	2
8 回目	咬合器:機構と分類・ﾌｪｲｽﾎﾞｳﾄﾗﾝｽﾌｧｰ・咬合採得		2
9 回目	咬合検査と顎機能障害	小テスト(3)	2
		total	18

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　顎口腔機能学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.11

授業科目名	顎口腔機能学　応用　（講義）・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	顎応-2021-2講-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	（必　修）・選択必修		
学　年	1年　・（2年）		
学　期	前　期　・（後　期）		自　宅　045－　472　－5101
曜日・回数	木・金 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　－　－
時　限	2　限　10:40～12:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※顎の動きや顎の動きに調和した噛み合わせの様々な様式、技工物製作に使用する咬合器について深く理解し、分類するために総合的に実施する。

※学生が各項目について説明することができ、使用器具を正しく選択、取り扱いが行うことができる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	顎口腔系の形態・機能	オリジナル編集問題の解答・解	2
2 回目	下顎位・下顎運動	オリジナル編集問題の解答・解	2
3 回目	歯の接触様式・咬合器	オリジナル編集問題の解答・解	2
4 回目	歯と歯列・顎口腔系を構成する骨・顎口腔系に関係する筋・神経支配	オリジナル編集問題の解答・解	2
5 回目	下顎運動の分析に関係する基準点・基準面　咬合に関する平面	オリジナル編集問題の解答・解	2
6 回目	下顎位　下顎の基本運動　下顎の限界運動	オリジナル編集問題の解答・解	2
7 回目	歯の形態と機能　咬頭嵌合位・偏心位における咬合接触	オリジナル編集問題の解答・解	2
8 回目	咬合器の使用目的　機構と分類　フェイスボウトランスファー　咬合採	オリジナル編集問題の解答・解	2
		total	16

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　顎口腔機能学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.12

授業科目名	顎口腔機能学実践　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	顎実-2021-2実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		自　宅　045 －　472　－5101
曜日・回数	月～金　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1～4回	口腔内を印象から模型調整までを行い作業模型の製作法を習得する	担当　小口	8
5～8回	顎の運動を確認、習得してチェックバイトを製作する	担当　小口	8
9～10回	顔弓を構造、使用法を習得してﾌｪｲｽﾎﾞｳﾄﾗﾝｽﾌｧｰができるようにする	担当　小口	4
11～14回	上顎ならびに下顎の模型を咬合器に正しく装着できるようにする	担当　小口	8
15回目	顆路角の調整と切歯路角の調整が出来るようにする	担当　小口	2

評価方法	total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.13

授業科目名	歯科理工学　基礎　1　（講義）・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理基1-2021-1講-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	（必　修）・選択必修		
学　年	（1年）・　2年		
学　期	（前　期）・　後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	火　曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1限　9：00～10：30	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される高分子材料、セラミック材料、複合材料の基礎知識と製作過程を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	歯科技工と歯科理工学　講義ガイダンス		2
2 回目	物質の構造、機械的性質と試験法		2
3 回目	歯科材料の性質		2
4 回目	印象材　ハイドロコロイド系		2
5 回目	印象材　ラバー系、　非弾性、模型材との関係		2
6 回目	模型材　石膏の種類		2
7 回目	石膏の一般的性質		2
8 回目	原型　ワックス		2
9 回目	レジン　加熱、常温重合の組成		2
10回目	加熱重合レジン製作		2
11回目	常温重合レジン、一般的性質、その他の成形法		2
12回目	義歯床関連材料、硬質レジン		2
13回目	陶材焼成		2
14回目	陶材の性質		2
15回目	焼付用陶材　オールセラミック　その他の歯科材料		2
		total	30

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.14

授業科目名	歯科理工学　基礎　2　　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理基2-2021-1講-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・　2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	水　曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1　限　9：00～10：30	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科医療で使用される金属材料の基礎知識と製作過程で使用される器具機材について学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	主な歯科用金属　歯科用合金		2
2 回目	貴金属合金		2
3 回目	非貴金属合金		2
4 回目	歯科用金属まとめ		2
5 回目	鋳造理論　埋没材		2
6 回目	石膏系、非石膏系埋没材		2
7 回目	埋没、加熱操作		2
8 回目	鋳造操作		2
9 回目	鋳造機の種類、鋳造体の処理		2
10回目	鋳造欠陥		2
11回目	金属の加工、接合		2
12回目	合金の熱処理 その他の歯科材料		2
13回目	補綴物の仕上げ 機械研磨、化学研磨		2
14回目	補綴物の仕上げ　器具、機械		2
15回目	補綴物の安定性　歯科技工の安全性		2
		total	30

評価方法

進級試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.15

授業科目名	歯科理工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理応-2021-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月、火　曜日　14 回　30時間	単位	携　帯　-　-
時　限	1・2・4限　9:00～10:30　10:40～12:10　14:40～16:10	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯科理工学基礎1，2で修得した知識を基に歯科医療で使用される各材料、器具機材の応用知識と製作方法を学ぶ。

※各種材料の持つ固有の性質を熟知し、材料学の観点から歯科技工製作時、その補綴物の優位性を判断出来得る人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	東京都問題の検証と解説、歯科材料の性質,印象採得編		2
2 回目	東京都問題の検証と解説、模型材（石膏）、原形（ワックス）編		2
3 回目	東京都問題の検証と解説、レジン成形、セラミック成形編		2
4 回目	東京都問題の検証と解説、合金、埋没材編		2
5 回目	東京都問題の検証と解説、鋳造、加工、接合、熱処理、仕上げ編		2
6 回目	1　埼玉問題の検証と解説		2
7 回目	2　埼玉問題の検証と解説		2
8 回目	1　千葉問題の検証と解説		2
9 回目	2　千葉問題の検証と解説		2
10 回目	1　北海道問題の検証と解説		2
11回目	2　北海道問題の検証と解説		2
12回目	1　大阪問題の検証と解説		2
13回目	2　大阪問題の検証と解説		2
14回目	1 、2 宮城問題の検証と解説		4
		total	30

評価方法

学期末試験、卒業試験によって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯科理工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.16

授業科目名	歯科理工学実習　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理実-2021-1実-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・　2年		
学　期	前　期 ・　後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	月～金　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科材料の基礎的な製作過程と歯科技工に用いる使用機器、機材の扱い方と特性を実習をとおして理解する

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回	マイクロモーターの使い方　個人購入材料に出席番号の刻印	担当　永嶋	2
2～3回	常温重合レジンを使用しブンゼン灯の蓋を製作	担当　永嶋	4
4～5回	印鑑の製作　印面の印象採得ワックスパターン製作～埋没・鋳造	担当　永嶋	4
6～8回	印鑑の製作　印面部研磨～完成	担当　永嶋	6
9～11回	印鑑の製作　柄の製作～埋没、重合	担当　永嶋	6
12回目	印鑑の製作　柄の部分形態修正～完成	担当　永嶋	2
13～15回	実習模型製作　実習に使用する模型を製作	担当　永嶋	6

評価方法　total　30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.17

授業科目名	歯科理工学実験　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	理験-2021-1実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・　2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	金　曜日　15回　30時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～2時限まで　9:00～12:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

歯科技工材料の基礎知識と実験機器、機材の扱い方と特性を実験を通して理解する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	
1 回目	石膏の硬化膨張	担当　望月	4
2 回目	埋没材の熱膨張	担当　永嶋	4
3 回目	金属の加工硬化	担当　永嶋	4
4 回目	ワックスの性質	担当　小口	4
5 回目	レジンの重合	担当　永嶋	2
6 回目	印象材の硬化時間	担当　勝田	4
7 回目	鋳造体の適合性	担当　望月	4
8 回目	陶材の焼成	担当　望月	4

評価方法　30

実験データをレポートにまとめ提出

教科書	
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.18

授業科目名	全部床義歯技工学　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学　歯学部 石川　千恵子
授業コード	有全-2021-1講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・　後　期		
曜日・回数	月 曜日　15 回　30時間	単位	
時　限	2 限　10:50 ～ 12:30	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　全部床義歯製作の順序を理解する。

※　全部床義歯製作のための技工操作を修得する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	全部床義歯技工学概説と製作順序		2
2 回目	形態的・機能的基礎知識		2
3 回目	審美的基礎知識　全部床義歯の特性		2
4 回目	印象採得・解剖学的ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ・印象とﾄﾚｰ		2
5 回目	精密印象と作業模型・作業模型の処理		2
6 回目	咬合床の製作・咬合器		2
7 回目	咬合器装着と調節・Go-A描記装置の取り付け		2
8 回目	人工歯の種類と選択		2
9 回目	排列・歯肉形成		2
10回目	埋没の前準備と埋没		2
11回目	流蝋・義歯床用レジンの重合		2
12回目	咬合器の再装着		2
13回目	人工歯の削合		2
14回目	研磨・修理		2
15回目	リベースとリライン・金属床		2
		total	30

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.19

授業科目名	部分床義歯技工学　講義・実技・演習	担当教員	鶴見大学歯学部歯科補綴学 鶴見大学歯学部有床義歯 新保秀仁
授業コード	有部-2021-1講-後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		
曜日・回数	月 曜日　15 回　30時間	単位	
時　限	3 限　12:10 ～ 14:30	2単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※部分床義歯の構成要素、設計、製作方法を学ぶ

※部分欠損の障害、治療計画を学ぶ

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	総論(部分床義歯の意義、歯の欠損に由来する障害)	2
2 回目	部分欠損補綴の分類とパーシャルデンチャーの種類	2
3 回目	支台装置の種類と所要条件	2
4 回目	連結装置の種類と所要条件	2
5 回目	接着と義歯床材料	2
6 回目	診査と設計	2
7 回目	前処置、印象採得	2
8 回目	顎間関係の記録、サベイング、人工歯排列	2
9 回目	金属床の構造とフレームワーク	2
10回目	部分床義歯の製作	2
11回目	試適と装着	2
12回目	装着後の管理と機能評価	2
13回目	様々なパーシャルデンチャー①	2
14回目	様々なパーシャルデンチャー②	2
15回目	様々なパーシャルデンチャー③	2
	total	30

評価方法

学期末テストおよび小テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.20

授業科目名	有床義歯技工学　応用　（講義）・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	有応-2021-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	（必　修）・選択必修		
学　年	1年　・（2年）		
学　期	（前　期）・（後　期）		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	月・水・木 曜日　15 回　30時間	単位	携　帯　－　－
時　限	1・4限　9:00～10:30　14:40～16:10	2単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　全部床義歯並びに部分床義歯を製作できるようにするために、義歯に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	有床義歯技工学概説、全部床義歯の製作	教科書 P.3～47	2
2 回目	全部床義歯の製作、咬合器装着から義歯の研磨	教科書P.48～102	2
3 回目	部分床義歯の構成要素と各分類、支台装置の種類	教科書P.104～146	2
4 回目	部分床義歯の連結装置、義歯床、人工歯、	教科書P.147～157	2
5 回目	部分床義歯の製作	教科書P.158～230	2
6 回目	義歯修理、リベース、オーバーデンチャー、金属床、その他の有床義	教科書P.231～273	2
7 回目	有床基礎知識の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
8 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
9 回目	全部床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
10回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
11回目	部分床の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
12回目	修理等の国家試験出題基準に準じたオリジナル問題の解答・解説		2
13回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
14回目	過去の国家試験問題を利用した問題の解答・解説		2
15回目	国試対策、全部床義歯の問題の傾向と対策		2
		total	30

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
別読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.21

授業科目名	全部床義歯技工学基礎実習　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	全実-2021-1実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　75回　150時間		携　帯　-　-
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

無歯顎患者に対する治療の流れに沿った実習を行い、全部床義歯の製作方法を習得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2回	咬合床の製作	設計	担当　永嶋	4
3～8回	咬合床の製作	基礎床の成型	担当　永嶋	12
9～14回	咬合床の製作	咬合提の成型	担当　永嶋	12
15～16回	全部床義歯の製作	製作法を習得する	担当　永嶋	4
17～25回	全部床義歯の製作	咬合器装着	担当　永嶋	18
26～36回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作・人工歯排列	担当　永嶋	22
37～42回	全部床義歯の製作	蝋義歯製作・歯肉形成	担当　永嶋	12
43～56回	全部床義歯の製作	床材料の置換	担当　永嶋	28
57～66回	全部床義歯の製作	咬合調整	担当　永嶋	20
67～75回	全部床義歯の製作	研磨・完成	担当　永嶋	18

評価方法　total　150

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.22

授業科目名	部分床義歯技工学基礎実習　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	部実-2021-1実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		自　宅　045 －　472　－ 5101
曜日・回数	月～金　曜日　30回　60時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

部分床義歯の製作を通して、模型の調査方法や維持装置の製作方法を習得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2 回	部分床義歯の製作	設計	担当　永嶋	4
3～6回	部分床義歯の製作	模型調査	担当　永嶋	8
7～11回	部分床義歯の製作	維持装置の製作	担当　永嶋	10
12～14回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作・人工歯排列	担当　永嶋	6
15～17回	部分床義歯の製作	蝋義歯製作・歯肉形成	担当　永嶋	6
18～27回	部分床義歯の製作	床材料の置換	担当　永嶋	20
28～30回	部分床義歯の製作	研磨・完成	担当　永嶋	6

評価方法	total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学　基礎　　講義・実技・演習	担当教員	山本歯科医院 山本　鉄雄
授業コード	歯基-2021-1講-前・後	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年・　2年		
学　期	前　期・後　期		
曜日・回数	月 曜日　　25 回　　50時間	単位	
時　限	1限　　9:00 ～ 10:30	3単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復治療の手順と補綴物の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。

※機器と材料の特徴を理解し、機能的および形態的に残存歯牙と調和の取れた補綴物を製作するための基礎的なことを学ぶ」。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　　時間
1 回目	歯冠修復技工学の概説	2
2 回目	歯冠修復技工学の概要と種類　3. 全部鋳造冠	2
3 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件	2
4 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件　2. 物理的要件	2
5 回目	歯冠修復物および架工義歯の要件　4. 審美的要件	2
6 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序	2
7 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　2. 研究模型	2
8 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　4. 作業模型	2
9 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　5. 支台築造	2
10回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　5. 支台築造	2
11回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　7. 咬合器装着	2
12回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　8. 蝋型形成	2
13回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　9. 埋没	2
14回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　10. 鋳造	2
15回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　11. 連結法	2

評価方法

中間試験および学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 2 年 3 月 31 日

No.23

授業科目名	歯冠修復技工学　基礎	講義 実技 演習	担当教員	山本歯科医院 山本　鉄雄

16 回目	歯冠修復物および架工義歯の製作順序　12. 研磨			2
17 回目	インレー、アンレー、一部被覆冠			2
18 回目	全部被覆冠　1. 全部鋳造冠　1.意義			2
19 回目	全部被覆冠　2. 前装鋳造冠　5.製作法			2
20 回目	2)陶材焼付鋳造冠の製作法 (2)歯冠継続歯			2
21 回目	全部被覆冠　ジャケットクラウン			2
22 回目	全部被覆冠　3. ジャケットクラウン 5.製作法 2)硬質レジンジャケット製作法			2
23 回目	架工義歯　連結部			2
24 回目	架工義歯　製作法　1.固定性架工～製作法2)ワンピース～固定性架工義歯			2
25 回目	架工義歯　製作法　2.半固定性架工義歯の製作法			2
			total	50

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.24

授業科目名	歯冠修復　応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	歯応-2021-2講-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月、木 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　-　-
時　限	1・4限　9:00～10:30　14:40～16:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※歯冠修復物及び架工義歯を製作できるようにするために、口腔内での機能及び形態に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	トレー・印象材～		2
2 回目	作業模型トリミング～		2
3 回目	プロビジョナル・レストレーション		2
4 回目	蝋形成・埋没・鋳造		2
5 回目	インレー・クラウン～		2
6 回目	レジン前装冠関係～		2
7 回目	ポーセレン関係～		2
8 回目	鑞付け・フラックス～		2
		total	16

評価方法

中間テストと学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日　No.25

授業科目名	歯冠修復技工学基礎実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	冠基-2021-1実-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	(前　期)・　後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月・火　曜日　23回　45時間		携　帯　-　-
時　限	3時限～4時限まで 13:00～14:30 14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する基礎的な器材の取り扱いについて修得する。

歯冠修復における治療の流れを理解し、技工作業を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1 回	インレーの製作	模型製作	担当　永嶋	2
2～3回	インレーの製作	蝋原型製作	担当　永嶋	4
4 回	インレーの製作	埋没・鋳造	担当　永嶋	2
5～7回	インレーの製作	研磨・完成	担当　永嶋	6
8～13回	クラウンの製作	模型製作	担当　永嶋	12
14～15回	クラウンの製作	蝋原型製作	担当　永嶋	4
16回	クラウンの製作	埋没・鋳造	担当　永嶋	2
17回	クラウンの製作	研磨・完成	担当　永嶋	2
18回	メタルコアの製作	模型製作	担当　永嶋	2
19回	メタルコアの製作	蝋原型製作・埋没	担当　永嶋	2
20回	メタルコアの製作	鋳造・研磨・完成	担当　永嶋	2
21回	TECの製作	蝋原型製作・レジン置換	担当　永嶋	2
22回	TECの製作	形態修正	担当　永嶋	2
23回	TECの製作	研磨・完成	担当　永嶋	1
			total	45

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.26

授業科目名	歯冠修復技工学応用実習　講義・(実技)・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	冠応-2021-1実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	前　期　・　(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～木　曜日　60回　120時間		携　帯　-　-
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～3回	レジン前装冠の製作	模型製作	担当　永嶋	6
4～5回	レジン前装冠の製作	蝋原型製作	担当　永嶋	4
6 回目	レジン前装冠の製作	窓開け	担当　永嶋	2
7～9回	レジン前装冠の製作	埋没・鋳造	担当　永嶋	12
10～11 回	レジン前装冠の製作	前装部形態修整	担当　永嶋	8
12～14回	レジン前装冠の製作	歯冠色レジンの築盛	担当　永嶋	10
15 回目	レジン前装冠の製作	レジン部形態修整	担当　永嶋	4
16～17回	レジン前装冠の製作	研磨・完成	担当　永嶋	8
18～19回	ブリッジの製作	模型製作	担当　永嶋	8
20～35回	ブリッジの製作	蝋原型製作	担当　永嶋	12
36～43回	ブリッジの製作	埋没・鋳造	担当　永嶋	16
44～49回	ブリッジの製作	メタル調整・レジン築盛	担当　永嶋	12
50～56回	ブリッジの製作	レジン部形態修整	担当　永嶋	12
57～60回	ブリッジの製作	研磨・完成	担当　永嶋	6

評価方法　　total　120

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.27

授業科目名	歯冠修復先進技工　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	冠実-2021-2実-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期 ・　後　期		自　宅　045 －　472　－5101
曜日・回数	月～金　曜日　30回　60時間		携　帯　－　－
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※

新しく開発された歯冠修復の技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～5回	CAD/CAMを使用したｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの製作	説明、模型製作	担当　勝田	10
6～10回	CAD/CAMを使用したｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの製作	スキャニング～シンタリング	担当　勝田	20
11～23回	CAD/CAMを使用したｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの製作	フレーム調整	担当　勝田	16
24～30回	CAD/CAMを使用したｲﾝﾌﾟﾗﾝﾄの製作	ステイニング	担当　勝田	14

評価方法	total	60

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.28

授業科目名	小児歯科技工学基礎　講義・実技・演習	担当教員	神奈川歯科大学短期大学部　特任教授 西村　康
授業コード	小児-2021-2講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期・　後　期		
曜日・回数	木 曜日　8 回　16時間	単位	
時　限	1 限　9:00 ～ 10:30	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

顎・顔面、歯列、歯などから構成される総合的咀嚼器官の正常な育成のために、小児歯科医療は成長発達期のものを対象として顎口腔領域の疾患や異常の予防と治療を行い、健康の維持増進を図っている。小児歯科技工学においては、正常な育成を阻害する疾患や異常に対して、機能回復、予防をはかる修復物や装置を製作することが意義として挙げられている。そのためには小児の特性および生理的変化をよく理解して、それが技工物に反映できることが重要である。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	
1 回目	小児歯科技工学の概説、成長発育段階、全身の成長発育	教科書 P.1～9	2
2 回目	成長発育と年齢、小児の年齢評価、顎・顔面の成長発育	教科書 P.9～14	2
3 回目	歯の萌出時期（乳歯・永久歯）、乳歯の形態的特徴	教科書P.15～21	2
4 回目	歯列の発育変化①	教科書P.18～29	2
5 回目	歯列の発育変化②	教科書P.29～33	2
6 回目	小児の齲蝕、小児の歯冠修復	教科書P.34～37、プリント	2
7 回目	保隙装置（固定保隙装置、可轍保隙装置）、口腔習癖	教科書P.38～60	2
8 回目	スペースリゲーナー、口腔習癖除去装置、咬合誘導装置に用いる	教科書P.61～80	2
	維持装置		

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.29

授業科目名	小児歯科技工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　望月　彪汰
授業コード	小児-2020-2講-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	水、金 曜日　8 回　16時間	単位	携　帯　-　-
時　限	1・2限　9:00～10:30　10:40～12:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※小児の成長発育、乳歯の特徴、小児の歯冠修復、口腔誘導に関わる装置について理解を深める。

※1. 小児の成長発育について説明できる。2. 小児の年齢評価について説明できる。3. 乳歯の特徴および歯の萌出順序について説明できる。4. 乳歯列の特徴について説明できる。

5. 混合歯列期の特徴について説明できる。6. 小児の歯冠修復について説明できる。7. 咬合誘導装置について説明できる。8. 咬合誘導装置に関する各種維持装置について説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1 回目	小児の成長発育		2
2 回目	小児の年齢評価		2
3 回目	乳歯の特徴、乳歯・永久歯の萌出順序		2
4 回目	乳歯列期の特徴		2
5 回目	混合歯列期の特徴		2
6 回目	小児の歯冠修復		2
7 回目	咬合誘導装置		2
8 回目	咬合誘導装置に関する各種維持装置		2
		total	16

評価方法

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.30

授業科目名	小児歯科技工学実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	小実-2021-2実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	前　期　・　(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　15回　30時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　小児の補綴物を製作できるようにするために、乳歯の特徴と成長発育に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～2回	小児義歯　製作	説明・設計	担当　小口	4
3～6回	小児義歯　製作	人工歯排列	担当　小口	8
7回目	小児義歯　製作	義歯床研磨・完成	担当　小口	2
8～9回	クラウンループ製作	説明・既成冠調整	担当　小口	4
10～12回	クラウンループ製作	ループ製作・鑞着	担当　小口	6
13～15回	クラウンループ製作	研磨完成	担当　小口	6

評価方法		total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.31

授業科目名	矯正歯科技工学基礎　講義・実技・演習	担当教員	野田歯科医院 野田晃司
授業コード	矯正-2021-2講-前	連絡先	
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・2年		
学　期	前　期・　後　期		
曜日・回数	木 曜日　8回　16時間	単位	
時　限	3 限　13:00 ～ 14:30	1単位	

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正歯科技工学の基礎や治療のメカニズムを理解し、矯正装置の種類、製作法を習得する。

※各種不正咬合に対応した矯正装置を適切に制作できる人材を育成する。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	矯正歯科技工学概論	2
2 回目	正常咬合と不正咬合	2
3 回目	矯正治療の進め方と矯正装置の選択	2
4 回目	矯正器具、器材	2
5 回目	矯正装置の種類・分類	2
6 回目	矯正治療(矯正装置の使用法)	2
7 回目	矯正線の屈曲法(実習)	2
8 回目	自在鑞付け(実習)	2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.32

授業科目名	矯正歯科技工学応用　講義・実技・演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　望月　彪汰
授業コード	矯正-2021-2講-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	水、金 曜日　8回　16時間	単位	携　帯　-　-
時　限	1・2　限　9:00～10:30　10:40～12:10	1単位	E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※矯正治療の目的や不正咬合の特徴、矯正のメカニズムや各種矯正装置について理解を深める。

※1. 正常咬合について説明できる。2. 不正咬合について説明できる。3. 矯正歯科技工の器具の取り扱いについて説明できる。4. 線屈曲の方法と自在鑞付けについて説明できる。

5. 矯正用口腔模型の種類と違いについて説明できる。6. 矯正力や固定源による矯正装置の分類ができる。7. 動的矯正装置の目的と製作を説明できる。8. 静的矯正装置の目的と製作を説明できる。

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考　時間
1 回目	正常咬合	2
2 回目	不正咬合	2
3 回目	矯正歯科技工用器具と器械、材料	2
4 回目	矯正技工の基本的手技	2
5 回目	矯正用口腔模型	2
6 回目	矯正装置の分類	2
7 回目	動的矯正装置の目的と製作	2
8 回目	静的矯正装置の目的と製作	2

評価方法　total　16

学期末テストによって評価する。

教科書	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学　全国歯科技工士教育協議会編集
副読本・資料	各項目ごとのプリント
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.33

授業科目名	矯正歯科技工学実習　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	矯実-2021-2実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	前　期　・　(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　15回　30時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科矯正治療の補綴物を製作できるようにするために、矯正のメカニズムと各種装置に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1 回目	リンガルアーチ製作	説明・固定バンド製作	担当　小口	2
2～3回	リンガルアーチ製作	主線屈曲	担当　小口	4
4～5回	リンガルアーチ製作	弾線ろう付け・屈曲完成	担当　小口	4
6～7回	保定装置製作（ホーレーの保定装置）	説明・設計～屈曲	担当　小口	4
8～9回	保定装置製作（ホーレーの保定装置）	接歯唇側線・維持装置屈曲	担当　小口	4
10～11回	保定装置製作（ホーレーの保定装置）	床部製作・完成	担当　小口	4
12～15回	平面屈曲	屈曲（1回に1コ屈曲）	担当　小口	8

評価方法	total	30

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.34

授業科目名	先進技工実習Ⅰ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	先Ⅰ-20-21-2実-後期	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年　・　2年		
学　期	前　期　・　後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　68回　135時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～28回	レジン前装冠実習	製作法を習得する	担当　勝田	56
29～43回	チタン床の実習	チタンフレームの説明・製作ができる	担当　小口	30
44～49回	全部床義歯製作	咬合床の説明・製作ができる	担当　小口	12
50～53回	部分床義歯製作	個人トレーの説明・製作ができる	担当　小口	8
54～58回	部分床義歯製作	咬合床の説明・製作ができる	担当　小口	10
59～68回	部分床義歯製作	義歯重合法等を習得する	担当　小口	20
			total	136

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.35

授業科目名	先進技工実習Ⅱ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	先Ⅱ-2021-2実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　90回　180時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　新しく開発された技術や材料を使いこなせる様になるために、その製作方法を学び理論と技術を習得する実習を行う。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～36回	ポーセレン前装冠製作	製作法を習得する	担当　勝田	72
37～42回	義歯、架工習得実習	義歯・架工を習得し説明できる	担当　小口	12
43～60回	ﾉﾝｸﾗｽﾌﾟ実習	製作法を習得する	担当　小口	36
61～68回	口蓋板	義歯の患者を理解する実習	担当　小口	16
69～90回	ｺﾊﾞﾙﾄｸﾛﾑ床製作	製作法を習得する	担当　小口	44
			total	180

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.36

授業科目名	総合歯科実習Ⅰ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	総Ⅰ-2021-1実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	(1年)・　2年		
学　期	(前　期)・(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　45回　135時間		携　帯　-　-
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

模型製作の方法と制限時間内に石膏模型を製作する技術を習得する。

部分床義歯の石膏埋没方法の習得と完成にに至るまでの過程技術の習得

授業計画・内容　（進度・予定）		備　考	時間
1～8回	定期試験受験用模型製作	担当　永嶋	78
9～12回	部分床義歯下蓋埋没	担当　永嶋	12
13～21	部分床義歯の上蓋埋没～流ろう	担当　永嶋	12
22～30	部分床義歯レジン填入～重合	担当　永嶋	12
31～40回	部分床義歯の割り出し～形態修正	担当　永嶋	11
41～45回	部分床義歯の研磨～完成	担当　永嶋	10

評価方法　total　135

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学・歯冠修復技工学
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和3 年 4 月 1 日

No.37

授業科目名	総合歯科実習Ⅱ　講義 実技 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　永嶋　正道
授業コード	総Ⅱ-2021-1実-後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	必　修 ・選択必修		
学　年	1年 ・ 2年		
学　期	前　期 ・ 後　期		自　宅　045 －　472　－5101
曜日・回数	火木金　曜日　68回　135時間		携　帯　－　－
時　限	1時限～4時限まで　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

人工歯排列や線屈曲、歯冠修復補綴物の反復練習により、基礎的手技の向上を目指す。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～15回	ワイヤー屈曲　制限時間にワイヤー屈曲の完成反復練習		担当　永嶋	30
16～20回	連結装置製作	リンガルバー(waxupのみ)	担当　永嶋	10
21～61回	全部床排列	排列歯肉形成　反復製作	担当　永嶋	80
62～68回	ブリッジ、前装冠　ワックスアップ	ブリッヂ、前装冠反復練習	担当　永嶋	15

評価方法		total	135
	・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。		
教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。		
副読本・資料	・最新歯科技工士教本　有床義歯技工学・歯冠修復技工学		
その他			

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.38

授業科目名	総合歯科実習Ⅲ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　勝田　崇仁
授業コード	総Ⅲ-2021-2実-前	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・　後　期		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　68回　135時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～22 回	実習使用模型製作	臨床的模型での製作法の習得	担当　勝田	44
23～32回	歯冠修復補綴物の製作	歯冠修復waxupを習得	担当　勝田	20
33～38回	部分床義歯実習	咬合床、個人ﾄﾚｰ、屈曲を習得	担当　勝田	12
39～55回	定期試験受験用模型製作	定期校内試験用の模型製作	担当　勝田	34
56～68回	全部床義歯実習	蝋義歯完成までを習得	担当　勝田	26
			total	136

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	

教 授 要 綱　シ ラ バ ス

令和 3 年 3 月 31 日

No.39

授業科目名	総合歯科実習Ⅳ　講義 (実技) 演習	担当教員	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校 教員　小口　隆
授業コード	総Ⅳ-2021-2実-前・後	連絡先	〒　222-0033　横浜市港北区新横浜2-6-10
分　類	(必　修)・選択必修		
学　年	1年　・　(2年)		
学　期	(前　期)・(後　期)		自　宅　045 -　472　- 5101
曜日・回数	月～金　曜日　68回　135時間		携　帯　-　-
時　限	1～4時限　9:00～10:30　10:40～12:10　13:00～14:30　14:40～16:10		E-mail　kyoumuka@kyouseigakuen.ac.jp

授業の概要と科目のねらい・到達目標

※　歯科技工士として臨床現場で働くために、架工、義歯の補綴物製作に関する知識、技術および、態度を身に付ける。

授業計画・内容　（進度・予定）			備　考	時間
1～4 回	印象採得実習	口腔内印象の模型製作法を習得	担当　小口	8
5～8回	義歯の名前入れ	災害時等の義歯紛失を防止できる	担当　小口	8
9～14回	TEK製作実習	TEK製作法を習得し説明できる	担当　小口	12
15～17回	屈曲実習	部分床義歯の屈曲を習得	担当　小口	6
18～36回	全部床義歯製作実習	排列、重合操作を習得	担当　小口	38
37～68回	歯科技工士に必要な能力の反復練習	歯型彫刻・屈曲・ﾃﾞｯｻﾝを習得	担当　小口	64
			total	136

評価方法

・ステップごとの提出物を総合的に判断し評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

教科書	・本校オリジナルの実習書を配布する。
副読本・資料	資料およびレジュメなどは必要に応じて配付
その他	